平成２６年２月３日

みちのく公園
MICHINOKU PARK

がんばろう！東北

国営みちのく杜の湖畔公園
Michinoku Lakewood N.G.P
NEWS RELEASE

# 「かまくらまつり」2月７日から始まります！
# ただいま『かまくら』制作中　！

みちのく公園では、２月７日（金）から１１日（祝）の５日間、東北の冬の風物を紹介する催しとして「かまくらまつり」を開催します。

期間中は本場横手市で見られる「かまくら」と同規模のものを展示、食や郷土芸能を楽しむ行事を開催し、「かまくら」の雰囲気をお楽しみいただくことができます。

◎期間：平成２６年２月７日（金）～11 日（祝）

◎会場：ふるさと村「おまつり広場」

◎かまくらの大きさ　直径・高さ 3.6m、壁厚 60ｃｍ、４基設置　※8 人入ることができます。



昨年のかまくらまつり会場

ニュースリリース配信先：宮城県政記者クラブ・仙台市政記者クラブ・東北電力記者クラブ・仙南記者クラブ
山形県政記者クラブ・山形市政記者クラブ・福島県政記者クラブ・福島市政記者クラブ


お問い合わせ先

国営みちのく杜の湖畔公園　みちのく公園管理センター（担当／内海･藤本･佐藤）
TEL：0224-84-5991　FAX：0224-84-5992
〒989-1505　宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9

# かまくらの作り方紹介

## 【制作工程】

「かまくら」の材料の雪は、公園のある川崎町内笹谷峠付近から運び込みます。
運び込んだ雪を型枠に詰め込み円筒形のかたまりを作り、最後に中をくり抜いて完成です。



雪を搬入します



専用の型枠に雪を詰めます



雪を積み上げ締固めます



表面を綺麗に整えます



手作業で穴を掘ります



完成・展示

## 【かまくらとは？】

「かまくら」とは秋田県など日本の降雪地に伝わる小正月の伝統行事であり、 雪で作った「家」（雪洞）の中に祭壇を設け、水神を祀ります。

一般には、伝統行事で作られるものに限らず、雪洞自体が「かまくら」と呼ばれ、「かまくら」の語源は、形が竈（かまど）に似ているから「竈蔵」であるとする説や、神の御座所「神座（かみくら）」が転じたものであるとする説などがあります。



# かまくらまつり　イベント紹介

## ◆ゆきん子記念撮影

昔ながらの蓑を着て、かまくら前での記念撮影をお楽しみください。



【日　時】2/7（金）～11（祝）　10：00～15：00
【場　所】おまつり広場
【備　考】自由撮影のためカメラはご持参ください。

## ◆なまはげ来訪

「悪いごはいねがぁー！」なまはげが、本荘由利の家からおまつり広場を練り歩きます。



【日　時】2/8（土）・9（日）
①　11：30～12：00　②13：30～14：00
【場　所】本荘由利の家～おまつり広場
【備　考】雨天時は中止

## ◆秋田名物味噌たんぽ作り

本場秋田のうるち米を使って、囲炉裏で焼き上げるおいしい味噌たんぽをつくります。



【日　時】2/8（土）・9（日）　10：00～15：00
受付は９：30～整理券配布
【場　所】本荘由利の家
【備　考】参加費 500 円／2 本、各日 40 組

## ◆古民家で昔ながらの節分体験　【協力】ふるさと村の民話の会

鬼のお面作りをしていただき、昔ながらの節分を体験していただきます。

【日　時】2/8（土）・9（日）・11（祝）
11：00～15：00
【場　所】釜房の家
【備　考】参加費１00 円　各日 50 組

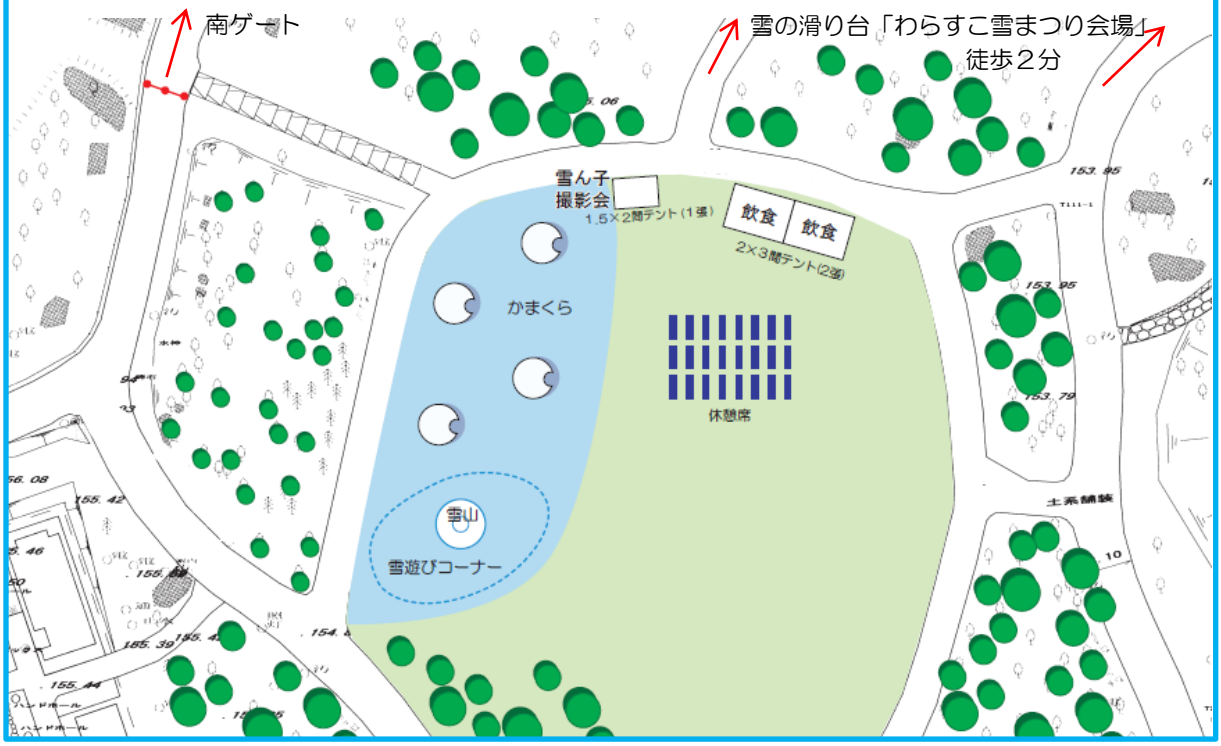
## ◆民話がたり　【協力】ふるさと村の民話の会

東北地方に伝わる民話をお聴きください。

【日　時】2/8（土）・9（日）・11（祝）
11：00～15：00
【場　所】遠野の家

◆かまくらまつり会場　ふるさと村「おまつり広場」

会場にはかまくら４基、雪ん子記念撮影コーナー、雪遊びコーナー、秋田名物売店が揃います。




◆雪の滑り台は「わらすこ雪まつり」会場で！

「わらすこ雪まつり」２月２３日（日）まで開催中！

毎年大人気の「雪の滑り台」は、かまくらまつり会場から徒歩２分の「わらすこ雪まつり」会場にあります。

今回はチューブで滑るコースを加え、全部で４つのコースを設置しています。



